

フトゥーロ通信

2023年度1号

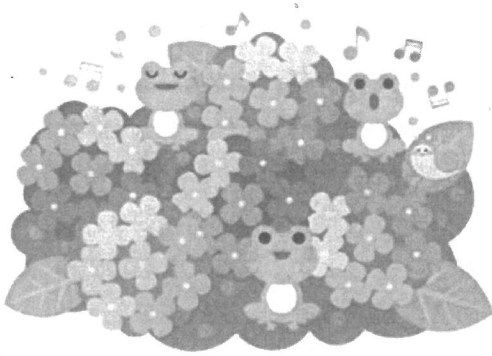
NPO フトゥーロ LD発達相談センターかながわ

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町803-2
第一サンワードビル2F

Tel. 045-989-3501

Fax. 045-989-3502

<http://www.futuro.or.jp>



雨の多い季節になりました。一日の寒暖差も激しい時期ですが、フトゥーロでは引き続きお子さんとスタッフの健康状態に留意しつつ指導を行ってまいります。今年度もよろしくお願いたします。



わくわくさせる演出を

フトゥーロ 所長 安住 ゆう子



3月末、日本民藝館で行われた「生誕100年 柚木沙弥郎(ゆのき さみろう)展」に行ってきました。柚木さんは昨年101歳になられた現役染色工芸家です。大きな型染めや版画の作品の他にも全国各地のお店のロゴや絵本の挿絵など様々な作品を作っているのでもどこかで目にしている方も多いかもかもしれません。

作品展では今までの作品とともに、柚木さんへのインタビュー映像が流されていました。

「どうやって模様を考えるのですか。」という質問に対して、「おもしろくないと作れません」「そのためには自分をわくわくさせる演出をします」「(新しい)帽子をかぶってみるとか」「情熱がなくなったら、はいそれまでよ♪」と、現役で創作し続けられる秘訣(?)を話していました。

「自分をわくわくさせる演出」、なるほどですね。いつも何事にもやる気満々というわけにはいかず、飽きてしまったり、やりたくないことには気持ちが落ちてしまいますよね。「もう、

やだーやめたーい」と思ってもやめるわけにはいかない時、きっと皆さんも自分の気持ちをあげる何かを工夫していることでしょう。

子どもたちはどうでしょうか。子どもたちも気のりしないことを好きなことにつなげてみたり、その後のお楽しみを考えてみたりと、自分でわくわく剤を使っている様子を目にすることもあります。でも成長途中の子どもたちがいつも自力で見つけるのは難しいことでしょう。

小学生の時、消しゴム1個を買ってもらって明日学校に行くのが楽しみになったのは私だけでしょうか(笑)。「洗濯屋さんみたいに上手に洗濯物がたためるね」と言われて(のせられて)、洗濯物たたみにはまっていた時期もありました。終わって「お客様、こちらになります」とはしゃいで母に洗濯物を渡した記憶がありません。

いつかは自分でできるように、それまでは子どものわくわくの気持ちのお手伝いをするのも大人の大切な役割だと思います。

●卒業生にインタビュー<26>●

好きなことをしながら高校生活を楽しんでいます！ 聞き手・スタッフ 三島 節子

今回から3回シリーズで現在高校2年生になったA君(男子)のお母さんに子育ての様子をお話いただきます。A君はフトゥーロのグループ指導に小学3年生から6年生まで通っていました。小学校時代は緊張、ドキドキ系、控えめなタイプでした。フトゥーロをお休みすることはありませんでしたが、学校は時々行きたくないなあ~と思っていたようです。*年齢はインタビュー時(2023年1月)のものです。

第一話・緊張を溶かす好きなものの力

息子はこの4月から高校2年生になり、毎日楽しく過ごしています。中学は陸上部でしたが、高校ではずっとやりたいと思っていた合唱部に入ることができて満足の様です。実は、高校受験は合唱の強豪校を目指し頑張ったものの、残念ながらその高校には合格できず、また入った高校(今通っている)の合唱部は入学当初は女子だけでした。どうするかな?と思って見守っていましたら、勇気を持って飛び込んでいき(現在はもう一人男子が入りました)、テノールを担当しているようです。あのドキドキ系の息子が女子だけの合唱部によくぞ入ったと感心した次第です。好きなものの力はすごいな~と驚きました。また、高1の1学期のテストで解答欄を間違えてしまい得意の物理でまさかの3点。落ち込んでふさぎ込んで親にも見せたくないだろう

テストですが、これをその日にクラスで公表して笑いに変え、次は頑張ると公言したと聞き、親の私もびっくりでした。公言実行精神で次は満点を取りました。そして3点を取ったその日、提出物忘れもありダブルダメージの息子でしたが、それを機(3点と提出物忘れの息子への同情?)にクラスメートがクラスラインで提出物のお知らせを流してくれるようになりました。少し話を中学に戻すと、ドキドキ系の息子が変わったのは中学の「合唱実行委員」を引き受け、本人なりにみんなを引っ張ってクラス優勝した頃かなと思います。実行委員としてみんなに説明する場面が多々ありましたが、説明することが苦手だから実際やって見せる工夫をしたり、困ったことは家族に聞いて「こうした方がいいよ~」などアドバイスを受けたりしていました。その当時仲の良い友だちがいて、「○○(息子の名前)は謝っているのかもしれないけど、謝っている感じがしない」とズバリ伝えてもらって抑揚や表情を変えるといったこともあったようです。友だちや家族に揉まれながらも守られて活動範囲が広がり、広がると失敗も増えますが失敗を糧にしつつ生きていたように思います。もっと話を戻すと、小3で合唱団と出会い、入りたいけどドキドキ、もじもじして入れない期間があり、小4年の終わり頃、「エイヤ

ッ」と高い壁を越えた時、めちゃ楽しい合唱体験ができ「僕って実は見られること好きかも？」と自分の好きなものに気づいた瞬間がありました。息子の緊張が溶け始めたのはあの時かな？と思います。



■ 幼児期や小学校低学年で息子が困っていたこと

- ・幼稚園の頃、外で困った事があると、自分から言えないで不安な顔をしている事が多かったです。
- ・同窓会で久しぶりに行った幼稚園で靴や荷物を「どこに置いたらいい？」と不安がった事があり、「どこでもいいよ」と伝えても置くことが出来ず、こちらで場所を指定する必要がありました。

アナログゲーム・ボードゲーム紹介②

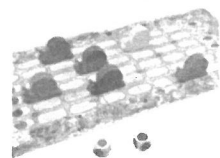
～果樹園ゲーム・テンポかたつむり・ZOO PARK どうぶつえあわせ～ スタッフ 稲垣 智子

フトワーロでよく登場するゲームの一部をご紹介します。今回のテーマは協力です。

1. **果樹園ゲーム** サイコロを振って出た色の果物をカゴに入れる、カラスが果樹園に来るまでにみんなで協力して果物を集めるゲームです。フトワーロでは「カラスのカースケ」ゲームと呼び親しまれています。みんな VS カラスなので、カラスが一步進むと「きゃー」とみんなで盛り上がる幼児さんから楽しめるゲームです。
2. **テンポかたつむり** サイコロを振り、出た色と同じ色のかたつむりを進めていきます。自分のかたつむりは決めないので、「赤ががんばれ!」「緑がもうすぐ着きそう!」と応援する声も自然と聞こえてきます。早くゴールできるかたつむりもいれば、ゆっく

り進むかたつむりもいて、「まだ少ししか進めてないから、あの色のかたつむりさんを応援してあげよう」とみんなで声を掛け合って遊べるゲームでした。

3. **ZOO PARK どうぶつえあわせ** 「頭」「胴」「尾」に分かれたカードを揃えて、動物を完成させるゲームです。元々の遊び方もありますが、あるグループではチームを作って、頭は見える状態、「胴」と「尾」は裏返して神経衰弱のようにして集める遊び方をしました。「左側に僕たちの集める動物の胴があった気がするよ」「僕、右に置いてあるカードを覚えておくから左はお願いね」と作戦を考えたり、「こっちじゃない!」「いや、あっちだよ」と自然とやり取りをして遊ぶことができました。



● 実践報告 41 ●

みんな大好き！フライドポテトポテトについて研究レポートを書こう！



スタッフ 古畑 僚・内藤 良子

昨年度、4年生から6年生のグループで行った、フライドポテトの研究についてご紹介します。

ハンバーガーと一緒に、あるいは、3時のおやつに、お弁当に…などなど、大人から子供まで大好きなフライドポテトですが、会社（メーカー）によって、ポテト1個あたりの重さや長さ、価格、見た目などは様々です。そこで、この活動では、「色々なメーカーのポテトについて知ろう」を目標に、ポテトの測定を行い、その結果をレポートにまとめる活動を行いました。

1回目の活動では、誰がどのポテトを担当するかについて相談した上で、各自、はかりや定規、紙を使いながら測定や色や質感についての観察を行いました。はかりは針のついた、アナログのものを使用したので、注意深く目盛りを読み取ることに気をつけました。それぞれ、真剣にポテトと向き合いながら「（他のメーカーと比べて自分のポテトは）とても太い。繊維があって、筋が糸のようになっている」「色は象牙色だ」などつつぶやきつつ、データを集めていきます。ポテトの油污れに気をつけつつ計測と記録を同時に

行う作業は大変でしたが、一生懸命に取り組み、測定と観察の作業が終わりました。

2回目はパソコンを使って、調べた内容をまとめていきます。この日は Google スライドというサービスを使用しました。Google スライドは1つのファイルを複数人で操作できる仕様となっており、あるお子さんがパソコンで書いた内容が瞬時に別のお子さんの使っているパソコンの画面にも反映されます。これにより、お互いが書いた文章やデータ、画像などをその場で参考にしながら制作を進めることができます。

制作の途中は作成したデータをお互いに見つつ「○○くんのポテト、すごく本数が多いね！」「僕のポテト、一番長いと思ってたけど、□□くんのポテトのほうが長いのか！」と口々に言いながら音声入力やタイピングで入力。レポートの完成も無事に1回の指導時間内で仕上げることができました。

出来上がったレポートはしばらくフトゥー口の待合室に掲示することになり、多くの反響をいただきました。



おうちでチャレンジ 運動発達を支える身体づくり①

スタッフ 森安裕江

今年度は、聞いたり話したり、読んだり書いたりするための基礎になる力を育てる運動をとり上げたいと思います。

私たち人間は、生まれたときから、地球の重力、引力に逆らいながら生活をしています。脳の発達によって、ふにゃふにゃの赤ちゃんの首が据わり、腰が据わり、お座り、つかまり立ちと少しずつ地面から遠ざかって姿勢を保てるようになっていきます。

0～2ヶ月



3～5ヶ月



6～8ヶ月



9～11ヶ月



12～14ヶ月



そうした中で、筋緊張の保ち方（無意識下で行われています）、筋肉の動かし方、バランスのとり方を少しずつ学び、最も不安定な立位での移動を可能にします。また、アスレチックやボール運動だけでなく、読んだり書いたりするなどの複雑な運動ができるようになっていきます。

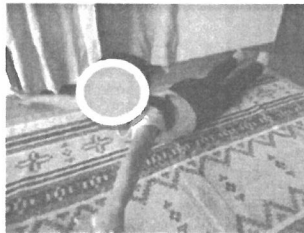
それを支えているのが、基礎感覚といわれる、“固有受容覚” “前庭感覚” “触覚”の3つの感覚です。これらは、基本的に無意識下でコントロールされているので、日常生活で意識することは少ないですが、人が生きていくために、社会的な生活を送るためにも大切な感覚です。また、無意識下であるがゆえに、「なんでちゃんと座れないの！」「きちんと見て！」といわれても、本人は

“やっているつもりなのになんでだろう？”と思ってしまうこともあります。

そこで、まずは脳が重力を知り、適切な筋緊張に近づくための第一歩として、ボトムリフティングとエアプレインをお子さんと楽しくやってみましょう。

【ボトムリフティング】

- ①あお向けに寝転がったお子さんのお腹あたりにボールを見せます。
- ②お子さんは、お尻を地面からあげるくらいしっかりと身体を丸めます。
- ③落ちてきたボールを手と足を使ってキャッチしましょう。足も使うのがポイントです。※だんだん小さいボールにしたり、視線が動く程度にボールを動かしてから落としたりなど少しずつレベルを上げると飽きずにできます。



【エアプレイン】

うつ伏せに寝て、自力で手足を浮かせます。難しい時は手だけでも良いです。

前やや上方に置いてあるものに触ったりカウントして長くできた達成感を味わいながら楽しんでやりましょう。

※手の位置が大切です。前方もしくは、顔の横までにおさまるようにします。後方に反るのは、エアプレインではなく、反り返りになってしまうので、気をつけてください。

不明な点は担当までご質問ください。

スタッフが見つけた！

★子どもたちのキラリ～ン★

ことばの表出の少ないお子さんを担当したことがあります。

高い窓から差し込むお日様の光や音の出る教具を黙って一緒に眺める瞬間が私は大好きです。ことばは交わさないけれど私とAちゃんとの間に静かな時が流れます。また外から聞こえてくる消防車の音に「あ！」と驚いて一緒に耳を当てて聞く素振りをするうちに、お互いっこりでもしようものなら、私は心の中でガッツポーズをします。その一つひとつの動作はほんの短い時間の何気ない動作ですし、ことばのやりとりはほぼないに等しいのですが、ちゃんと私とAちゃんの間に関わりは育っています。

何年か前のことです。B君はうなづくことや舌頭音をやって表出するお子さんでした。ある日指導が延びてしまったので最後にやる読み聞かせの本を少しショートカットして読み始めると、B君はすぐに席を立ち私のところに来て抜かしたページを「ここは読んでないよ。」と言うかのように、手でポンポンと叩くのでした。お母さんに何うとその絵本はお気に入りでお家にもあるということでした。ことばを交わさないけれどちゃんと関係性はできていて、自分の思いを伝えることのできたB君にはっと驚かされたきらりんエピソードです。

(スタッフ 新原 ゆり子)

お知らせ

●避難訓練について

5月から、お子さんやグループの状況に合わせてつづ、避難訓練を実施しております。日時や詳しい内容につきましては、担当スタッフから説明いたします。

●夏の単発プログラムのご案内

今年もサマースクールとアセスメントパッケージを行います。取り組む内容や検査の種類や時間割は待合室、各階の廊下に掲示しています。ホームページでもご覧いただけます。参加ご希望の方は担当スタッフにお申し出ください。

① 学習サマー（3日間連続）：対象は小学1～4年生

8/21(月)～23(水) 10:00～12:10 /費用 25,000円 /締め切り 7/24(火)

② スタディスキル&ソーシャルスキルサマー（3日間連続）：対象は小学1～3年生

8/21(月)～23(水) 10:20～13:20 /費用 20,000円 /締め切り 7/31(火)

③ 学習指導や支援に役立つアセスメントパッケージ（2日間）：対象は小学3年生～中学3年生

①7月31日(月) 8月1日(火) ②8月1日(火) 2日(水) ③8月3日(木) 4日(金)

④8月4日(金) 8日(火) ⑤8月9日(水) 10日(木) *⑤日程は高学年以上

費用 39,000円(3種の検査費用+報告書代) /締め切り それぞれの実施日から1週間前

フトゥーロ通信 **2023年度 1号**

発行日 2023年6月24日

発行所 NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 803-2 第一サンワードビル 2F

Tel. 045-989-3501 Fax. 045-989-3502 ホームページ <http://www.futuro.or.jp>